

「海星中学校の青瀬ヤンハ伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立海星中学校
2. 学年・人数	青瀬地区生徒 3人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 2024年10月～11月 青瀬地区コミュニティセンター (2) 発表の日時・場所 2024年11月2日 本校文化祭 海星中学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 青瀬ヤンハ（（あおせやんは） 青瀬地区生徒 (2) 由来 由来は諸説あり、年代もはっきりしていないが、青瀬郷土芸能保存会長によると、「壇ノ浦の戦いに敗れた平氏の落人が島に流れ着き、考え出したと伝えられている。」ということである。江戸時代には、島を治める地頭の来訪に合わせて披露したようである。 (3) 構成等 太鼓と拍子木に合わせて、刀で切るような扇子の動きに特徴がある。「ヤンハ」という力強いかけ声の一方で、日本舞踊の優雅な動きもある。踊りの「出羽・中踊り・入羽」の三部構成からなる。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	伝統芸能の伝承については、各地域の保存会が中心となり、取り組んでいる。そのため、学校は教育活動に位置付けることはないが、各地域担当職員が保存会と連携し、伝承活動を積極的に支援している。また、生徒減少に伴い、保存会の方々や本校職員が参加し、文化祭や各地域の行事において披露している。 生徒は、文化祭等で披露することに憧れがあり、住んでいる地域の伝統芸能に高い関心を持っている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 <p style="text-align: center;">文化祭での披露</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【生徒】 文化祭や地域の行事で披露することができてよかった。これからも伝統を受け継いで欲しいです。保存会の方々練習、指導等ありがとうございました。</p> <p>【教職員】 本校の文化祭の特色である、各地域の伝統芸能披露が、職員も参加し地域ぐるみで披露することができ、生徒とともによい経験となった。今後も地域とともに伝統芸能を伝承し、甕島を盛り上げたい。</p> <p>【保存会】 今年度は多くの郷土芸能が披露できよかった。今後は、生徒数減少に伴い、郷土芸能をどのようにして伝承していくかが課題です。子どもたちが、島立ちしても郷土を思う気持ちを忘れず、頑張ってもらいたいです。</p>